

単元名:満たされる「もの」「とき」について考える。

氏名:金場 澄人	学校名:和歌山市立東和中学校	
担当教科:音楽	実践教科:総合的な学習の時間(国際理解)	
時間数:1時間	対象学年:1年生	人数:32人

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標(評価の観点を意識して設定):			
自分たちが「満たされるもの・満たされるとき」とは何かを考える。			
【2】 単元の評価 規準	(ア) 知識・技能	ペルー共和国の概要、日本とのつながりや現状について理解する。学習したことや自分の生活を振り返り、比較する。	
	(イ) 思考・判断・表現	学習資料をもとに、ペルー共和国の実態と自分の生活環境について考え、意見を述べるができる。	
	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度	授業で学習したことをもとに、海外の国や人にどのように関わることができるか考える。	
【3】 単元設定の理由	<p>現代の日本の社会は非常に便利で、特にスマートフォンの普及率は、一人に一台に達しようというところである。インターネットやスマートフォン、コンビニエンスストアなどの普及によって授業者が感じることは、待たなくてもよいことである。あらゆる分野で迅速な対応が可能であり、ストレスを感じることがない。知りたいことはすぐに調べることができるし、欲しいものは注文すれば翌日には受け取ることができる。私たちはそのような環境を軸にして生活している。</p> <p>生徒たちは社会科の地理分野において海外の生活等について学習しているが、それは伝統的な生活様式や特色のある気候の内容が中心で、今回の授業で扱うものとは異なる部分が多い。そして、生徒が教科学習の中で開発途上国について学習する部分は多くなく、特に南米の開発途上国について知り得る機会は少ないと考える。授業ではペルー国内(リマ市内)で撮影した様々な街の風景の写真を使用する。その写真の中には美しく煌びやかな雰囲気のものや、その逆のものもあり、社会の授業で学習することとは一味違う内容のものを狙っている。また授業を行うにあたって留意すべきことは、負の面を強調しないことであると考えている。生徒たちが再び海外の国について学習することで、自分たちが生活している日本とはどのような国なのかを振り返り、海外の国々へ目を向けたり興味を持ったりするきっかけにしたい。</p>		
【4】展開計画(全1時間)			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1 本時	・自分が満たされる「もの」や「とき」について写真を見ながら考え、海外の国に関心をもつ。	・自分たちの普段の生活を振り返りながらペルー共和国で撮影された写真を分類し、国の概要や実態について知るとともに、将来どのような形で海外の国々と関わっていくことができるかを考える。	・写真(ペルー共和国国内で撮影したもの) ・模造紙 ・ワークシート

【5】本時の展開			
時間	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入 (5分)	・グループで考え、発表。	・本時の授業は、直感と自分自身の生活そのものを振り返りながら考える必要があることを伝える。	
展開	・今日の授業の目的を伝える。		
	自分たちが「満たされるもの・満たされる時」とは何だろうか？		
	(快適な生活を実現するものや、心が安らぐものとは何かを、提示された写真資料を見ながら考える) ・住み心地の良い家 ・テレビ ・どこに行っても清潔 ・あらゆる分野において(特に生活面)迅速な対応をしてもらえる		・スマートフォン ・様々な情報がすぐ手に入る ・自転車(スポーツバイク) など
(20分)	<<グループワーク>> ・設定されたルールに基づき、写真をならべていく。	・設定されたルールに基づき写真を整理することでどのような国であるかイメージを膨らませる。	・ペルーの写真、模造紙、ワークシート。
(25分)		★設定されたルール (別紙ワークシート資料参照)	
	・どのような国か?国名は?などグループで短時間話し合い、発表する。(国のイメージを文字にしても良い)	写真を見て想像できることを言葉や文字にする。 (国名やその国のイメージなど) 例:「〇〇国」または「楽しそうな国」など	
(30分)	・既習事項の写真を見て国名を思い出す。 ・実際の国名を伝える。 ・ペルー共和国の概要について知る。	・社会科地理分野で学習していることを伝える。 ・自分たちがイメージしていた国とペルー共和国との違いを意識するよう伝える。	・写真(地理分野教科書の写真)
(40分)	<<個人で考える>> ・本時の目的の、「自分が満たされるもの・満たされること」についてもう一度考える。 (1~2人発表)	・授業内容で良いと思ったこと(ペルー共和国の良いと感じた部分)について、意識して書くことができるよう助言する。	・ワークシート
まとめ (50分)	・授業のまとめ	・自分は将来、海外との関わりを持ってみたいと思うか考えさせる。	

【授業実践の様子】

ペルー共和国リマ市内で撮影した写真を、満たされる感覚があるもの、そうでないものに分類した。生徒たちは見慣れぬ風景の写真に興味を持って取り組むことができていた。



写真を分類している様子



グループによってならべ方に工夫があった

【6】本時の振り返り

普段とは違う内容の授業であったためか、生徒たちは興味をもって取り組むことができていた様子であった。授業に参加することが困難な生徒も、本時の授業ではグループ内で積極的に発言したり、写真を分類していく作業に楽しく取り組んだりしている様子であった。

【7】単元を通じた児童生徒の反応/変化

(生徒のワークシートより)

- ・自分が満たされると感じる時は、家が丈夫に作られていること、食べ物などが衛生的に問題がないこと、自分がしたいことをできているときなのかなと感じた。
- ・自分にとって欠かせないものは、自分の好きなことに集中すること。もし自分がこの国に行くなら、食べ物、街の様子などたくさんのかんじ取りたい。
- ・家の壁に絵を描いているのが気になった。日本ではあまりないものなので、見てみたいと思った。
- ・人が楽しそうにしていたり、喜んでいたりする写真や瞬間を見ることが良い。
- ・自分にとって欠かせないものは、ご飯がおいしいこと、スマホが使えること。
- ・都市化が進んでいる部分とそうでない部分とがあって、色々な景色や街の様子があり、一つの国でたくさん楽しめそうだと感じた。
- ・自分にとって欠かせないものは、人と人との関わり。

【授業を通じた途上国・異文化・多文化共生等への意識の変容】

(授業前)

社会科の地理分野で世界各地の暮らしや自然、産業、人口、宗教などについて学習しているが、ひとつの国に焦点を当てて学習はしていない。本校で途上国について学習する機会は社会科のみであり、アフリカの途上国について地理分野で学習しており、南米の途上国について知るのは今回が初めてである。

<p>(授業後)</p> <p>個人思考の部分において、以下のような感想や考えを書いていた。</p> <p>「写真を分類し、どのようなことを読み取ることができるか生徒同士で意見交換をしたことで、少しペルーに興味が出てきた」「人とのつながりを作り、安心できる環境づくりが必要」「満たされるためには自分だけでなく、人と人の協力が必要」</p>	
<p>【8】自己評価</p>	
<p>1. 苦勞した点</p>	<p>実施することができる授業が1回限りということもあり、今回はあくまでも生徒たちが海外に興味をもつきっかけづくりの内容にしたいと考えた。生徒たちにとっては、写真を見ても話を聞いても、なかなか実感が湧きにくい内容のものであることが予想されるため、ペルーに関する資料のどこに焦点を当てるか、こちらが意図することと、生徒の理解との間に食い違いが生じないように伝えることが難しいと感じた。</p>
<p>2. 改善点</p>	<p>ワークシートの個人思考の部分は、書き出しの選択肢をもう少し絞ってもよいと感じた。選択肢が少ないほうが、生徒の変容を見取りやすいのではないかと思う。また授業の回数をもっと確保し、ペルーがどのような国であり、抱えている問題や良い部分などについて思考を深める時間が必要であると考えた。</p>
<p>3. 成果が出た点</p>	<p>ペルーの社会が抱える様々な問題点についても生徒たちに伝えたが、ペルーに対しての否定的な意見はほとんど見受けられなかった。負の部分を強調しないように心がけ、そのようなことは文字にせず口頭で伝えるのみとした。また、海外も含め、ペルーに少し興味が出た、海外を見てみたいという感想がいくつかあったことは、今回の授業の目的と合致する部分であると感じている。</p>
<p>4. 備考 (授業者による 自由記述)</p>	<p>特になし</p>

添付資料:

ペルー、リマ市内で撮影された写真(授業者自身と研修参加者が撮影したもの)
ワークシート(授業者作成)

参考資料:

2020年度JICA地球ひろば主催 国際理解教育／開発教育指導者研修 授業実践事例集
社会科地理分野(東京書籍)

添付資料:ワークシート(授業者作成)

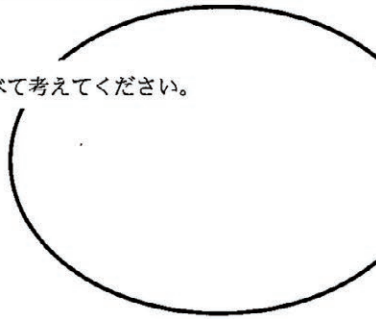
Where is here??(ココはドコ?) 1年 組 番 名前 _____

授業の目的: 自分たちが満たされるもの どんなもの?
自分たちが満たされる時 どんなとき?

(グループワーク)

1. 皆さんから見て、この国はどのように見えますか?

模造紙に写真を並べて考えてください。



写真をならべるときのルール

- ・心の面で満足できる・・・円の中へ
- ・物の面で満足できる・・・円の中へ
(満足度が高いものは中心へ)
- ・満足できない、不十分だと思うもの・・・円の外へ
(写真が重ならないように)
- (写真の枚数が多いのでなるべく早く作業を)
- (何の写真かわかりにくいものは質問してもよい)
- (分類は直感的に！考えすぎない)

2. グループで話し合った結果、〇〇国だと思う !!

この国は、 _____ 国 だ!

理由を各グループごとに発表してください。

皆さんが整理した写真は、 _____ 国のものです。

イメージしていたものに近かったですか?

_____ 国の概要

(メモが必要な人は、この枠内を使ってください)

(個人で考える)

3. ならべた写真を見て、「自分が満たされるもの・満たされること」は何かについてもう一度考えよう。

自分にとって欠かせないものは もし自分がこの国に行くなら 心が落ち着くとき 自分が海外の国や人と関わりをもつなら
写真の国のどのようなところに興味をもったか 良いと感じた部分は

添付資料:ペルー、リマ市内で撮影された写真(授業者自身と研修参加者が撮影したもの)

